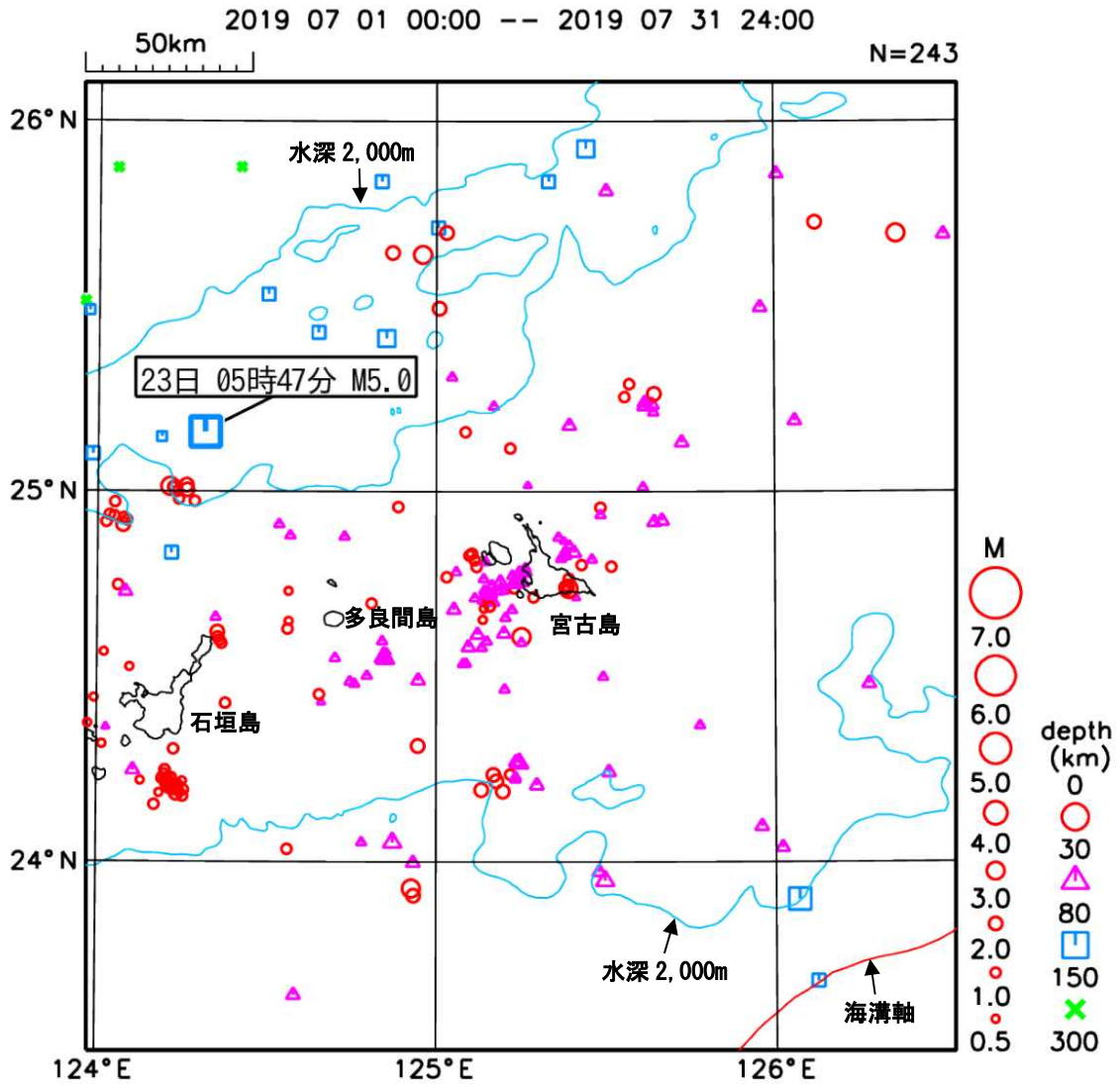


宮古島地方の地震活動図

令和元年（2019年）7月

宮古島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です。）
宮古島地方で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、宮古島地方で観測した地震は243回（6月172回）で、震度1以上を観測した地震は1回（6月1回）でした。

23日05時47分に宮古島北西沖で発生した地震（M5.0、深さ111km）により、宮古島市（伊良部島）、石垣市、竹富町で最大震度2を観測したほか、宮古島から西表島にかけて震度1を観測しました。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:7月1日~31日)

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2019年07月23日05時47分	宮古島北西沖	25° 09.6' N	124° 18.9' E	111km	M5.0
沖縄県	震度 2 : 宮古島市伊良部長浜*, 石垣市登野城, 石垣市新栄町*, 石垣市美崎町*, 竹富町大原				
	震度 1 : 多良間村塩川, 多良間村仲筋*, 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部国仲, 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西* 宮古島市平良西里*, 宮古島市下地*, 石垣市新川, 石垣市平久保, 石垣市伊原間* 竹富町黒島, 竹富町波照間, 竹富町船浮				

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

青字は宮古島地方の震度観測地点です。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて

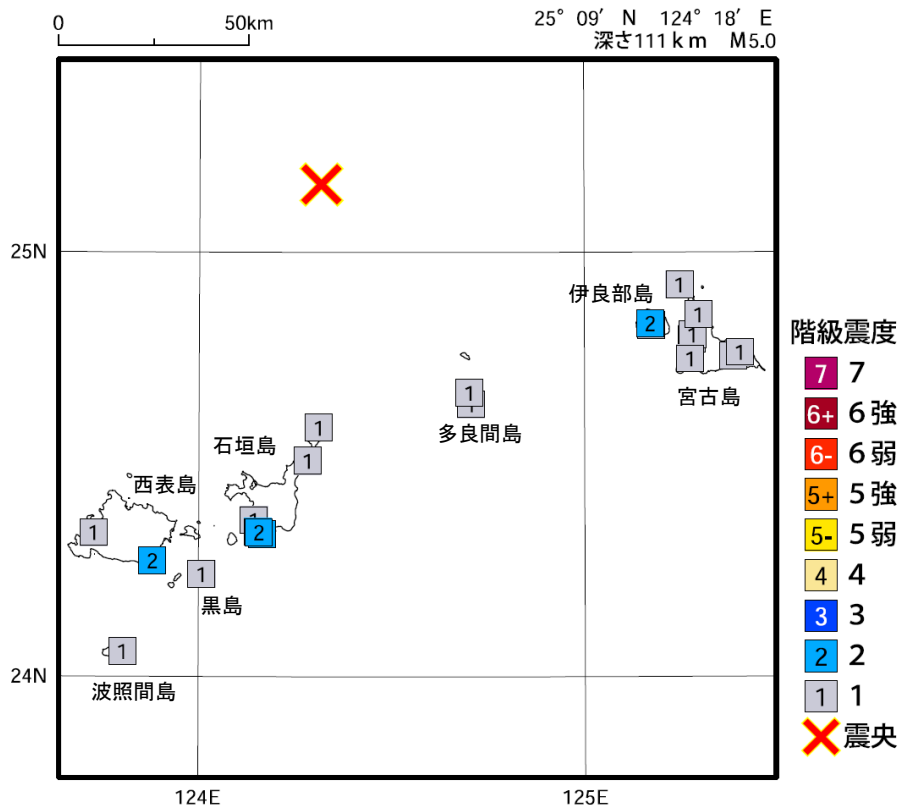
震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

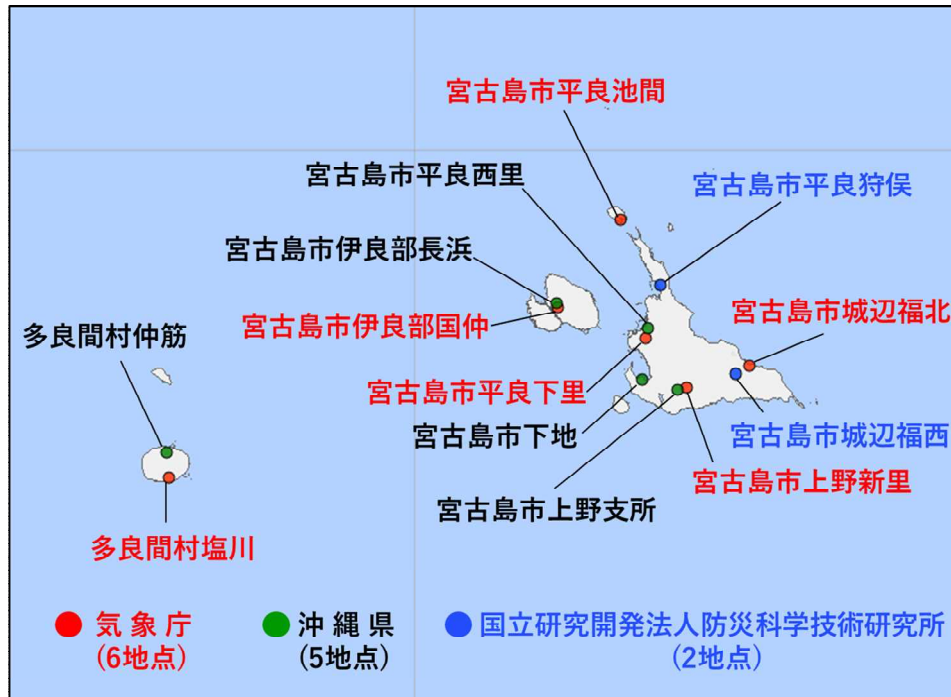
宮古島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

2019年7月23日05時47分

宮古島北西沖の地震の震度分布図



宮古島地方の震度観測地点



過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

URL <https://www.jma-net.go.jp/miyako/katsudo/katsudo.htm>

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054
(地震・津波に関する出前講座を実施しています。)



9月1日は「防災の日」 ～防災訓練に参加しよう！～

私たちの住む日本は、豊かな自然に恵まれています。その一方で、自然は時に私たちに容赦なく襲いかかり、甚大な災害をもたらします。

9月1日は、「防災の日」です。これは、1923年（大正12年）9月1日に発生した「関東大震災」にちなんだもので、例年台風の襲来が多い時期でもあることから、1960年（昭和35年）に制定されました。地震や風水害等に対する心構えを育成し、「災害への備えを怠らないように」との戒めも込められています。また、「防災の日」を含む1週間は「防災週間」となっています。

地震や津波等の自然災害は、いつ襲ってくるか分かりません。そのため、平常時より災害に対する備えを心がけ、発災時には自ら身の安全を守るとともに、「自助」、「共助」、「公助」による社会全体における防災力を向上させる必要があります。そこで、いざという時に適切な行動をとるためには、**日頃からの訓練**が重要となります。

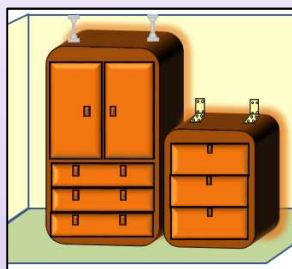
「防災の日」や「防災週間」では、全国各地の自治体などで防災訓練が行われます。地域などの防災訓練に積極的に参加しましょう。

また、家庭や職場などで防災について話し合っはいかがでしょうか。いざという時の避難場所や避難経路、連絡方法などを事前に確認しておくことが大切です。

地震や津波への備え



食料・飲料などの
非常用品の備蓄



家具の固定



避難場所や
避難経路の確認



防災訓練に参加

不意の地震や津波にも対応できるように、日頃からの「備え」と「訓練」が大切です！

- ✓ 食料・飲料や非常用品などを備蓄しましょう！
- ✓ 家具を固定して倒れないようにしましょう！
- ✓ 避難場所や避難経路などを家族で話し合っておきましょう！
- ✓ 地域の防災訓練等に参加し、正しい防災知識を身につけましょう！